

役場にて打ち合わせを行いました。

更地になり、第2章のはじまりです！

和歌山県 住みます芸人 わんだーらんど 日高川超 さけび隊通信 Vol. 50

～耕作OK地プロジェクト、第2章へ！～

まだまだ細かく整備しないといけないところは僕らも頑張りたいと思います！改めて、日高川町に新規就農者を呼び込むために頑張るぞー！

暑いですがねー。雨もなかなか降らずで、みかん畑に水が撒かれているのを見かけています。人間も一緒、水分補給を忘れないでください！今までも大丈夫やからって言うてるそのおいやん！熱中症に気をつけてください！ね！防災士になりました、たにさかより（笑）

さてさて、日高川町就農支援協議会という形にレベルアップした我々の耕作放棄地対策事業ですが、新規就農者の獲得を本気の本気で目指します。長らく管理してきた和佐地区の畑ですが、老木や枯木が増えこのままでは...という時に、新規就農者のための柑橘の苗木を育てる畑にしよう！と藏光さん、瀧本さん、亀井さんのお力で、基盤整備のうえ、更地になりました！重機を操る瀧本亀井の両人に惚れました。悲しさもありますが、前向きに畑が生まれ変わることは嬉しい！

最後に、日高川超さけび隊から告知。9月30日まで、ヤッホーポイントで「秘めた願い」を叫ぼうーヤッホー選手権が開催中です。地元の方皆さんも、ぜひ参加してみてください。詳しくは、日高川町観光協会にお問い合わせください！

そろそろ日高川で落ち鮎パターンのシーバスが狙えます。季節がやって来ますね。なぜか、チヌの方がよく釣れたりします。誰も興味ないか（笑）今回は、日高川町就農支援協議会の会議に参加してきました。日高川町の農業に興味を持ってくれた人が、いつでも農業体験に参加できる様な仕組みを作っていくこと。そして、僕たちの管理してきた耕作OK地ハッサク甘夏畑を、苗生産畑に生まれ変わらせるために、整地していこう！ということが決まりました。続けて、一年の間に一人は移住者を見つけてよう！と、固い約束が交わされました。もう、漫才してる暇はありません（笑）みかんTシャツを脱ぎ捨てて、移住して欲しいTシャツを作らないと！頑張ります！

広告

紀州新聞は購読料
(1ヵ月) 税込 **2,000円**
※郵送の場合は別途

紀州新聞社
御坊市島172 ☎0738(22)2536(代)

広告

ANCHIN
OTERA MAE RESTAURANT
since 1973

**会席料理・ランチ・鍋料理・仕出し弁当
テイクアウト・デリバリー ご相談下さい**

**お食事処
道成寺
参道沿い
あんちん**

**あんちん別邸
石蔵 (いしくら)**

【お問い合わせ】 TEL 0738-22-2964 日高川町鐘巻1745-3

広告

あなたの時間を有効活用！ちょこっとシルバーしませんか。

60歳以上のお仕事したい方に！
日高川町在住、60歳以上の方で
健康で働く意欲のある方に！
※お仕事内容はセンターによって異なります

日高川町シルバー人材センター
電話(0738)24-9012
日高郡日高川大字土生160番地2

事業主の皆様・ご家庭の皆様
さまざまなお仕事お引き受けしています。
お気軽にご連絡ください。

お問合せ先
厚生労働省委託事業
高齢者活躍人材確保育成事業
公益社団法人 和歌山県シルバー人材センター連合会

広告

アランこども英会話生徒募集

○遊びながら身につける英語○
★少人数制で個別指導中心(幼児あり)
★外国人の先生と一緒に英語を楽しめる催しあり
★上記のレッスン以外に → 小学生・・・英、国、算(県立中等部対応あり)
中学生・・・5教科の受付中
高校生・・・共通テストに対応したクラスあり
月4回(1回50分)・入会金5,000円・授業料6,000円

【お問合せ】 Alan & Tomoko Dolezalek
☎090-9548-4103
日高川町千津川4859-1



9月1日は「防災の日」災害の教訓を忘れない

防災の日とは、「政府、地方公共団体等関係諸機関をはじめ、広く国民が台風、高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備する」とし制定された啓発日であり、「防災の日」を含む1週間を防災週間としています。

「防災の日」は、1923年(大正12年)9月1日に発生した関東大震災にちなんだもので、「関東大震災の教訓を忘れない」という意味と、台風の襲来が多いとされる時期でもあるため、「災害への備えを怠らないように」との心構えを含めて、1960年(昭和35年)に制定されました。



地域の力でまちを守る

大きな災害が起こった時には、地域の住民がみんなで助け合う「共助」が不可欠です。

日頃から地域の人たちで構成する自主防災組織に積極的に参加し、いざという時に備えましょう。

【自主防災組織とは】

地域の住民が自主的に防災活動を行う組織です。

日ごろは、防災知識の普及啓発、防災訓練や地域の防災安全点検の実施、防災資機材の整備といった活動に取り組み、災害が起こった時には、初期消火、住民の避難誘導、負傷者の救出や救護、情報の収集や伝達、給食や給水活動などを行います。地域の特性を知っている住民で構成された組織だからこそ、実情に合った防災活動を行えます。

【なぜ自主防災組織は必要なの?】

大きな災害が起こった時には、交通網の寸断、通信の混乱、多発する火災などで、自治体や消防、警察など(公助)が、同時にすべての現場に向かうことはできません。そのような事態に備えて、地域住民が連携して活動し、地域の被害を最小限におさえることが自主防災組織の役割です。

【災害時の「自助」「共助」「公助」】

- ・「自助」：日ごろから家庭で災害に備えたり、災害時には早期に避難したりするなど自分で守ること。
- ・「共助」：隣近所、地区が協力して避難したり、初期消火活動を行ったりするなど地域で助け合うこと。
- ・「公助」：町や消防・警察などによる救助活動や支援物資の提供など公的支援のこと。

※自主防災組織の活動に参加し、地域の防災機能を高め、「災害に強い町づくり」を目指しましょう。

日高川町防災・行政情報アプリ

町からのお知らせや防災情報がスマートフォンに届きます！
屋外放送の内容もアプリで通知されるので聞き逃しがありません。また、暮らしに役立つ情報や電子申請など便利にお使いいただけます。ぜひご利用ください。

今すぐダウンロード!!

Apple製品の場合

Androidの場合

App Store

Google Play

お問合せ 防災センター ☎0738-24-9280